



みんなのひろば

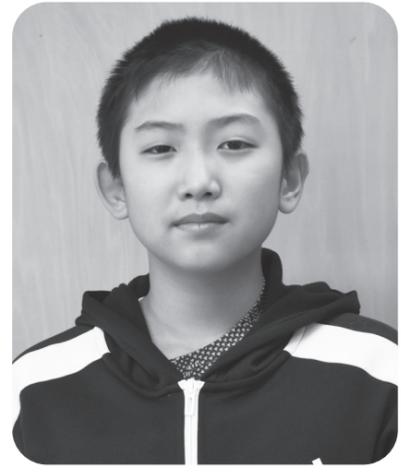
みんなのひろば

みんな仲良し
楽しい学校
将来は落語家になりたい

将来は落語家になりたい

石神 幸誠さん(居小6年 日出)

10月から後期児童会長として、みんなが元気良くあいさつできるような雰囲気づくりを心掛けて活動しています。
運動が好きで、1年生からスケート少年団、3年生から野球少年団に所属しており、これからも練習を続けてがんばっていきたいです。
学校の授業がきっかけで落語に関心を持ち、将来はみんなが笑顔になれるような落語家になることが夢です。



人いきいき

消防一筋 長年にわたり町民の生命と財産を守る

令和3年秋の叙勲で、北見地区消防組合訓子府消防団元団長の坂井さんが、瑞宝双光章を受章しました。「家族と一緒に活動してきた団員のおかげで受章できたと感じており、感謝しています」と話していました。

坂井さんは、昭和34年12月に訓子府消防団に入団し、昭和58年12月から副団長、平成7年12月から団長を務め、令和元年11月30日に退団。60年間の長きにわたり、消防団員として町民の安全確保、財産を守るため活躍されました。

「当時の団長と副団長に誘われたことや父親の勧めがあったため、入団し



坂井 悠紀さん(大町 81歳)

ました。木造建築の住宅がほとんどで、火災が多かったことを覚えていますが、現在よりも車両などが充実していなかったため、水の確保に苦労しました。水汲みのため、現場を離れると、再燃することがあり、情けなく感じていました。また、団員数の欠員が続いていたことも課題であり、火災が起きたときに何人集まれるのかという不安もありました。これまでの経験を生かし、車両などの充実や団員の確保に特に力を入れましたね」

「人々の命や財産を守るため、前向きに活動していたことが、団員に伝わればと何事にも取り組んできました。今回の受章も含め、これまで消防一筋に活動できたのは、団員はもちろん、家族の協力や理解があったからだと思っています。また、他地域の仲間と交流し、励まし合えたこともこれまでの長年の活動につながっていると思います」

「コロナ禍でなかなか訓練などができていない状況だと思えますが、備えは必要なので、団員の皆さんにはがんばってもらいたいですね」

短歌 訓子府短歌会

老いるとは哀しき事よ目眩して
担架に載せられ入院となる
東幸町 中島 玲子

待望の灯油ストーブ購入し
冬を楽しく暮らせそうなり
埼玉県 飯田 政章

劇団は姥捨山を熱演す
老人多き公民館で
大谷 昆野 範雄

短歌を詠み文字に記すと鉛筆を
持てば何処かで短歌でなくなる
東幸町 吉野 良華

南国に別れを告げて北の地へ
希望に燃えて未開地拓く
(明治30年北光社移民)

旭町 瀬谷 隆夫

霜月の朝もや明けて雲間より
太陽照らすカラ松林
日出 山内スミエ

ハウスかけ風に煽られ右ひだり
おわりし頃に無風となりぬ
西 富 山本 祐一

朝日のように 明るい1年を

協成で撮影した「朝日」の写真です。

明けましておめでとう
ございます。

令和4年。新年を迎えました。皆さんにとって今年も明るく良い1年になりますようお祈り申し上げます。



表紙から